学校番号	3032B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)看護数学演習②	単位数	1単位	年次	3年次後期
使用教科書							
副教材等	リンク数学演習Ⅰ・A　受験編 abc						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習（これまでの学習の確認問題を解く）と復習（授業で扱った問題などを再度解き、学力の定着につなげる）を必ずしてください。※特に復習をしておいてください。
・使用する教材では、a→b→c の順番に難易度上がります。a から順番に解いていき、b,c の入試問題にも触れていきます。
・これまでに使用した数学 IA の教科書やノートがあると、理解しやすくなるかもです。
・看護数学演習①の続きからになります。

2　学習の到達目標

・数学ⅠA の数と式、図形と計量、二次関数及び、データの分析における知識・技能を再度振り返りながら身に付ける。
・事象を数学的に考察したり，数学的な表現で解答を作成する力などを身に付ける。
・問題解決の過程を考察する能力を培い，看護系学校への進学に向け，学ぶ姿勢を身に付けさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・既習内容について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	・既習内容から標準問題に対し発展的に考察することができる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり,粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	標準問題編	看護数学演習①の続き b(basic)から扱う。 第1章　数と式 第3章　2次関数 第4章　図形と計量 第6章　場合の数と確率 c(challenge) 第3章　2次関数 第6章　場合の数と確率 ※授業進度に応じて、 取り組む内容を変更する場合あり。	a:既習内容の基本的な原理や法則を理解している。 b:問題演習を行う中で、数学的な表現を用いて、的確に表現している。 c:既習内容から新しい発見や考察を深めたりし、評価・改善したりしている。	小テスト 提出物	小テスト 提出物 振り返りシート	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度